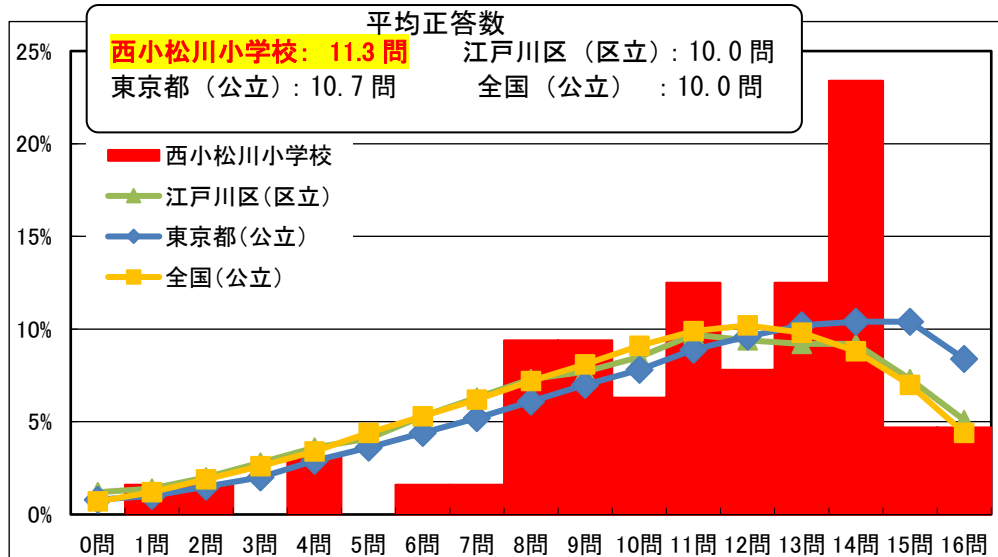
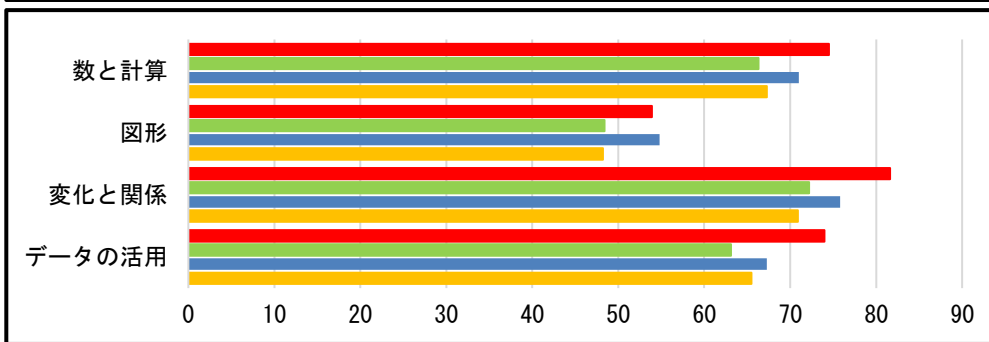
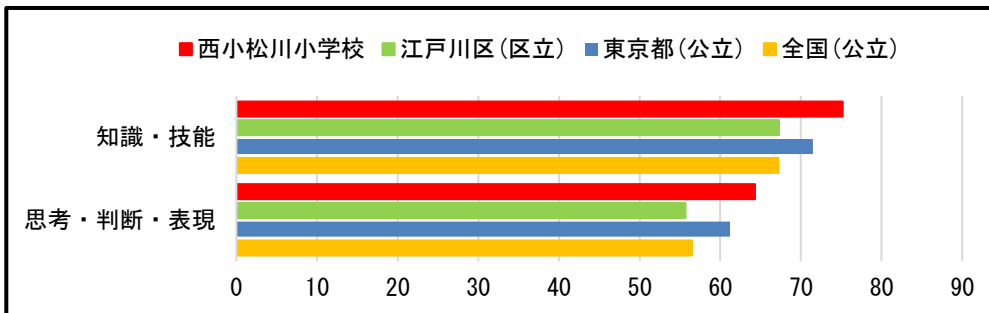


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】 西小松川小学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

算数	上位 ← → 下位			
	A層 14~16問	B層 11~13問	C層 8~10問	D層 0~7問
西小松川小学校	32.8	32.8	25.1	9.3
江戸川区(区立)	21.6	28.3	23.5	26.6
東京都(公立)	29.2	28.7	20.9	21.2
全国(公立)	20.2	29.9	24.4	25.5

【平均正答率の差】

西小松川小学校	70%
江戸川区(区立)	62%
東京都(公立)	67%
全国(公立)	62.5%
都との差	3ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

○算数科における成果・課題

算数では、全ての領域で全国平均値を上回った。「図形」の領域の平均正答率 53.9 と低い数値となった。B層、C層 57.8% と中間層が多い。

○授業改善

算数の授業では、習熟度のコースによって目標を定め、問題解決の仕方や発表方法などの工夫を図っていく。また、全体で解決方法を分類・整理していく際には、児童が主体的に学習に取り組めるよう少人数の話し合いを積極的に活用していく。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。